

COMMUNICATION

Kokusaika Newsletter
2009 No.4

- ① the 1st year Seminar 1年国際科セミナー ② TOEIC-IP
③ Congratulations! 英語スピーチコンテスト・中国語コンテスト・英検・高校生英語ディベート大会 ④ notices 予告

1年生のセミナー前後に猛威をふるった新型インフルエンザ (the new flu/ the swine flu) は少し収まったようですが、季節性もはやり始めています。3年生は受験勉強がいよいよ追い込みの時期、1, 2年生も第4回考査が間近に迫っています。皆さん健康管理には充分気をつけてください。3G, don't drink from the same soda bottles, you know.

The 1st year Seminar Oct.28~Oct.30 in Omigawa

1年生国際科の一大イベント「国際科セミナー」、今年も小見川少年自然の家で15人のALTを迎えて行われました。今年はGorgeous weather!と叫びたくなるような暖かく素晴らしい晴天に恵まれた一方で、やはり flu には勝てず、3日目に不調を訴える人が続き、1F はセミナー後、学級閉鎖になってしまいました。また、1E は出かける前に学級閉鎖があったため、特にディベートの準備時間が不足して、小見川に着いてから必死の追い上げをしなければならませんでした。

暗唱コンテストには新しい試みを取り入れました。2, 3年生にはお馴染みの Severn Suzuki の地球環境サミットスピーチの他に、Obama 氏のスピーチ (大統領戦勝利演説など) も加え、合計6種類から選べるようにしました。セミナー前には卒業生の青木くんが来て3クラスそれぞれの前でセヴァン、オバマ両方のスピーチ暗唱のお手本を示してくれました。(Thank you very much!) セミナー本番は、みんなとても良く練習してあり予選 (preliminaries) からレベルの高い大会になりました。finalists になった皆さんおめでとう。どれも非常に説得力のあるスピーチでした。セヴァン・オバマそれぞれの部門から1~3位を決めました。

夜のゲーム、5ステーションズも少し内容を入れ替えました。夜の活動は入浴と並行して行われるため、みんなで一緒にわーっと楽しむわけに行かないのが、毎年残念です。ディベート終了後のレクではマカレナなどのダンスを習いました。日本人教員の寸劇も一応楽しんでもらえたみたいですね。戸村が選ぶ Best actors は小林先生と山脇先生ですね。少々作業が遅れていますが、もうすぐホームページでも紹介するのでこちらもご覧下さい。

DAY 1 ice breaker



recitation contest winners



debate preparation

recitation contest (preliminaries)



DAY 2 debate



dances



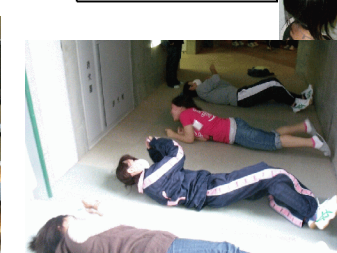
5 stations



DAY 3 scavenger hunt



closing ceremony



group photo



<セミナーアンケート結果より> 回答数 122 名

セミナーは とても面白かった 70 名 (57%) 面白かった 41 (34%) 普通 10(8%) つまらなかった 0 (0%)

面白かった活動は

(20%以上を載せました)

1. Scavenger Hunt 100 (82.0%)
2. Games- 5 stations 66 (54.1%)
3. Dances 51 (41.8%)
4. Debate 50 (41.0%)
5. Ice Breaker (Group) 41 (33.6%)

つまらなかった活動は

1. Recitation Contest 40 (32.8%)
2. Debate 34 (27.9%)

役に立つ活動は

1. Debate 114 (93.4%)
2. Recitation 63 (51.6%)
3. Scavenger Hunt 34 (27.9%)
4. Ice Breaker 28 (23.0%)

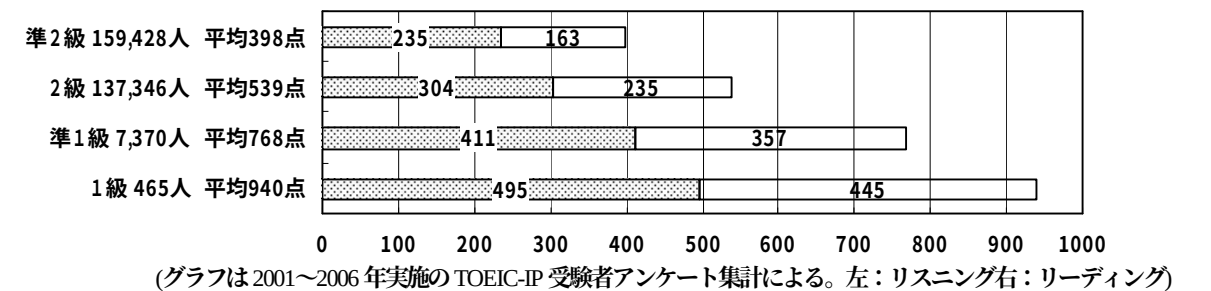
アンケート結果・感想より

例年同様「行く前は心配していたけれど、思っていたよりずっと楽しかった」という感想が圧倒的でした。ディベートについては、9割以上の方が「役立つ」活動だと認識してくれており、「面白かった」という人も4割いてとても嬉しいです。ディベート大会の前夜、活動時間の9時を過ぎても熱心に準備している班がいくつかあり、感心しました。どのチームも試合の回数を重ねる毎に上達し、楽しんでできるようになっていました。レシテーション・コンテストについては、人前での発表だったので大変緊張したという感想が多くありました。また、決勝に残った人達の説得力・迫力あるパフォーマンスに刺激を受けたという意見も多かったです。満足度 No.1 は今年も3日目のスカベンジャー・ハントでした。また、皆さんの感想からは、ALTの先生方が優しく、楽しく、根気強く指導してくださっていたことがとてもよく分かりました。他の班のALTの先生方とも交流する機会がもっと欲しいというリクエストもありました。「もっと自由に英語を話せるように英語の勉強を頑張る」「文法や語彙の学習・テストをきちんとやって正しく話せるようになりたい」という決意も多かったです。せっかく新たに英語学習への意欲…ALTの先生達が言っていたように、"Never give up!" Keep up the good work!! 毎日少しずつ前進していこう!

2年 375点(445→815) ←1年間でこれはすごい!歴代最高記録です! Amazing! Congratulations!
 195点(260→455) 180点(420→600) 180点(325→505) 180点(315→495)
 175点(380→555) 175点(350→525) 175点(320→490) 170点(320→490)

860 点以上 (レベル A) 2 名 730 点以上 (レベル B) 4 名
600 点以上 (レベル C) 15 名 470 点以上 (レベル C) 35 名

卒業までにレベル C 以上を目指して頑張ろう。下の英検の各級取得者の TOEIC スコア平均の表を見てもらえば分かりますが、そんなに難しいことはありません。2 級取得者の平均が 539 点です。既に 2 級を取得した人は沢山いるのですから、TOEIC の方も C レベルがもっと増えてもよいはず。来年はあなたも…



＜成田山ボランティアガイド上川さん特別授業＞12/1



太鼓祭り・弦祭りの事前
学習などでもお世話にな
っている上川さんが、3年
E,F,G組でそれぞれ成田山
新勝寺の期限や時代背景
等について講義をしてく
ださいました。



準1級 3E 加藤優, 3G 小西さゆり, 2G 高橋佳弥 さん 他の級の合格者もおめでとう!!

今年のディベート特別授業は2年生のみを対象に行います。

1 第4回全国高校生英語ディベート大会千葉県大会出場者（上記）によるデモンストレーション
"The Japanese government should prohibit worker dispatching." 「日本政府は派遣労働を禁止すべきである」

2 「スーパーイングリッシュA」選択者代表によるデモンストレーション
"The Japanese government should abolish the death penalty." 「日本政府は死刑を廃止すべきである」
(2E 谷守夏奈, 山田理子, 2F 井上望, 小池秀美, 塚本千穂, 平山芽衣, 吉田達也, 2G 高橋佳弥 さん)

難しい論題のディベートを2つ続けて見てもらいますので、今回は1年生の参加を見送りました。1年生には上級生のディベートを見てもらう機会が2月にあります。2年生国際科全員で行う2年国際科セミナー（ディベート・トーナメント）の決勝戦です。そちらを見て、来年の自分たちの活動の参考にしてください。

今年5月にスタートした裁判員制度 (lay judge system) のもとでは、私達一般人も死刑判決を含む判断を下さなければならない場合があるかもしれません。たとえ許せないくらいひどいことをした犯罪者であっても、命まで奪う必要があるのか？ いや、命でしか償えないほどのことをしたのだ！ いや、むしろ生きて一生をかけて償わせるべきだ！ 世界の潮流は人権尊重・死刑廃止である。冤罪 (無実の人を犯人にしてしまう) だったらどう責任をとるのだ！ いや、科学捜査の進む今日そんな心配はない。死刑廃止により犯罪率が上がるほうがはるかに心配だ！ 議論はつきませんが、死刑廃止／存続、自分達の立場をいかに理論的な裏付けを用いて主張するかが鍵です。

ちょうど昨今の頃は「派遣切り（派遣労働者が突然契約を打ち切られる）」にあい、職や住居までも失った人達の『年越し派遣村』のニュースが盛んに報道されていました。派遣は派遣会社に登録して（または派遣会社の社員となって）頼まれた会社・工場へ行行って働きます。景気の良い時は「好きな時だけ働ける」「資格を生かしているいろいろな会社で働ける」「パートよりは時給がいい」といった派遣の良いところが特に女性に好まれていたようです。しかし、製造業（工場での作業等）にも派遣が許可され、派遣労働者は会社にとって安くて（給料も安いし住居手当やボーナス等も要らない）不況の時はすぐ切れる（同じ工場で長く働いていても実は3ヶ月ごととか短期契約を繰り返すことが多い。）都合の良い労働者になっていることが注目されたのです。ひどい待遇なのに仕事は正社員と同じ人もいます。働く人を大切にしない、この派遣制度を廃止すれば問題は解決するのでは？でも、そんなことをしたら安い労働力を失った会社が倒産してもっと多くの人が失業してしまうのでは？そもそも、派遣を無くしても正社員になれるとは限らない。3人に一人が非正社員の現在、派遣以外にもパートとか契約とか請負とか同じように、またはもっと悪い労働条件で働いている人が沢山いるのです。――日本の経済を守りつつ労働者の権利を守るにはどうしたらよいのでしょうか…？